

Texte 7

Points grammaticaux

売れている

- 売れる = potentiel de 売る
- → possibilité de se vendre
- → + ている exprimant l'état = se vendre (bien)
- Cf. 売れっ子 (un personne (artiste etc.) qui "se vend bien" = qui est très demandée)

まるで+のようだ（な・に）

- Renforcement de la comparaison/métaphore
- « En tout point semblable à »

Condition (ば、なら) ou but (のには) ～ことだ

Permet d'énoncer un jugement sur ce qu'il convient de faire, ce qu'il est important de faire dans un certain contexte. Implique une notion de hiérarchie entre le locuteur et le destinataire (上から目線)

卒業したければ、毎日忘れずに漢字の練習をすることだ。 Si vous voulez réussir votre année, il ne faut pas oublier de faire des exercices de kanji tous les jours.

日本で成功するのには、日本語をちゃんと覚えることだ。

動詞の辞書形／する動詞の名詞十の + 上で
→11課 I・3 「～の上で・～上・～上の」

I・3 ～べく【～う（よう）と思って】

●「ある目的をもってそうした」と言いたい時。

- ①ひとこと鈴木さんに別れの言葉を言うべく彼のマンションを訪れたのだが、彼はすでに出発したあとでした。
- ②彼女は新しい気持ちで再出発するべく、長野県の山村に引っ越して行った。
- ③田中氏は記者会見場に向かうべく、上着を着て部屋を出た。

✎ ×インドのラムさんを迎えるべく空港まで行ってください。
後の文には依頼や命令、働きかけを表す文は来ない。
○インドのラムさんを迎えるべく空港まで行ったが、会えなかった。

動詞の辞書形 + べく（「する」は「すべく」もある）

I・4 ～んがため（に）・～んがための【～う（よう）という目的をもって】

●「ぜひ実現させたい積極的な目的をもってあることをする」と言いたい時。

- ①研究を完成させるんがため、彼は昼夜寝ずにがんばった。
- ②一日も早く自分の店を持たんがために、必死で働いているのだ。
- ③これも勝たんがための練習だから、がんばるしかない。
- ④災害から1週間たった。避難先のこの地で生きんがための方法をあれこれ考えて昨夜はよく眠れなかった。

✎ 1 ×大学に進学せんがためにがんばってください。
後の文には依頼や命令、働きかけを表す文は来ない。

○あの頃わたしは大学に進学せんがために、毎日必死でがんばった。

✎ 2 文語的な硬い表現。

動詞の（ない）形 + んがために（「する」は「せんがため」）

II 手段・媒介 ものごとが行われる手段や方法、その間で役目を果たす人やものを言いたい時

2級

- 1 ～によって・～による
- 2 ～によって
- 3 ～によると・～によれば
- 4 ～を通じて・～を通して

1級

- 5 ～をもって

II・1 ～によって・～による

●「～」という手段や方法で、あることをすると言いたい時。

- ①その問題は話し合いによって解決できると思います。
- ②ボランティア活動に参加することによって自分自身も多くのことを学んだ。
- ③数学者は正しい推論によって次々と定理を導き出す。
- ④彼は両親の死後、叔父家族の温かい援助と励ましにより、自分の目指す道に進むことができた。
- ⑤山田さんの仲介による商談は結局、不調に終わった。

✎ ×駅までバスによって行ったらどうですか。
×じゃ、この書類をファックスによってお願いします。
「～によって」は身近な道具や手段には使われない。
○駅までバスで行ったらどうですか。
○じゃ、この書類をファックスでお願いします。

名詞 + によって

II・2 ～によって【～に】

●受身文において、受身動詞の動作の主体を表す。

- ①「リア王」はシェークスピアによって書かれた三大悲劇の一つです。
- ②このボランティア活動はある宗教団体によって運営されている。
- ③地震予知の研究はアメリカ、中国、日本などの専門家によって進められてきた。



☞ 受身文の動作主はふつうは「に」によって表されるが、特に文の主語が生物以外のもので特定の動作主に焦点を当てたい場合などには「～によって」が使われることが多い。

🔗 名詞 + によって

📁 II・3 ～によると・～によれば【～では】

● 伝聞の文において、その内容をもたらした情報源を表す。

- ① テレビの長期予報によれば、今年の夏は特に東北地方において冷夏が予想されるそうです。
- ② 経済専門家の予想によると、円高傾向は今後も続くということです。
- ③ 妹からの手紙によれば、弟は今年、オーストラリアの自転車旅行を計画しているとのことだ。

🔗 名詞 + によると

📁 II・4 ～を通じて・～を通して【～を手段として／～を間に立つものとして】

● 何かが成立する時や何かをする時の仲立ちや手段となる人やものごとを表す。

- ① わたしはそのことをテレビのニュースを通じて知りました。
- ② 彼とは共通の友人を通じて知り合った。
- ③ 「このような民間レベルの国際交流を通じて、両国の相互理解が少しずつでも進んでいくことを願っています。」
- ④ 「社長に会うときは、秘書を通してアポイントメントを取ってください。」
- ⑤ 田中さんご夫妻を通しての結婚の話は残念ながらうまくいかなかった。

☞ 「～を通じて」「～を通して」は同じように使える場合が多いが、「～を通じて」は「～」を何かが成立するときの媒介、手段としてとらえ、「～を通して」は「～」を間に立てて何かをする、という積極的な意味で使われることが多い。

→ 3 課 5 「～を通じて・～を通して」



II・5 ～をもって【～で】

● 「～」を用いてあることをするという意味。

- ① 誠実な田中さんは非常な努力をもって問題解決に当たりました。
- ② 試験の結果は、1週間後に書面をもってお知らせします。
- ③ 今回のアルバイトでわたしは働くことの厳しさを身をもって経験した。
- ④ 彼の実力をもってすれば、金メダルは間違いないだろう。
- ⑤ 彼の能力をもってしても、社長になるのは無理だろう。

☞ ×この紙を10枚ずつクリップをもって留めておいてください。
身近で具体的な道具や手段にはあまり使われない。

○この紙を10枚ずつクリップで留めておいてください。



練習

2 目的・手段・媒介

A どちらの使い方が適切ですか。いい方の記号に○をつけなさい。

- 1 この病気の治療を続ける上で、
 - ④ 注意しなければならないことはどんなことでしょうか。
 - b 有名な病院に移ることにしました。
- 2 ラジオ講座を聴くべく、
 - a ラジオのスイッチを入れよう。
 - ⑤ ラジオのスイッチを入れたら、思いがけないニュースをやっていた。
- 3
 - ④ いい写真をとるように
 - b いい写真がとれるように
 } 高級なカメラを買った。
- 4 来年は受験なので、
 - ④ わたしが楽しく勉強するように
 - b 子どもが楽しく勉強するように
 } 部屋を改造しようと思う。
- 5 タンさん一家は
 - ④ 新しい生活を始めんがため
 - b 新しい生活が始まらんがため
 } 国を離れた。

関連・対応 二つのものごとの間に関連があると言いたい時

<p>2級</p> <p>1 ~によって・~による</p> <p>2 ~によっては</p> <p>3 ~次第で・~次第だ</p> <p>4 ~次第では</p> <p>5 ~に応じて・~に応じた</p> <p>6 ~たび (に)</p> <p>7 ~につけて</p> <p>8 ~をきっかけに (して)・ ~をきっかけとして</p> <p>9 ~を契機に (して)・ ~を契機として</p>	<p>1級</p> <p>10 ~いかにで・ ~いかにによって・ ~いかにだ</p> <p>11 ~いかにでは・ ~いかにによっては</p>
--	--

1 ~によって・~による

●「~」に対応して後のことがらがそれぞれに違うことを表す。

- ①収穫されたみかんを大きさによって三つに分類し、それぞれの箱に入れます。
- ②ホテルの窓からは、その日の天候によって富士山が見えたり見えなかったりです。
- ③人により人生観はいろいろだが、命の重みを否定する人はいないと思う。
- ④季節による風景の変化は、人の感性を豊かにしてくれる。

☞ 「~」には様々な種類や可能性を表す名詞が、後には、いろいろある、違うなど、一定ではないという意味を表す文が来る。

🔗 名詞 + によって → 19課 I・1「~によって・~による」

2 ~によっては【ある~の場合は】

●「ある~の場合は~のこともある」と言いたい時。

1 e 2 c 3 b 4 a 5 d

1 a 2 b 3 b 4 b 5 b

- ①この地方ではよくお茶を飲む。人によっては1日20杯も飲むそうだ。
- ②母が病氣なので、場合によっては研修旅行には参加できないかもしれません。
- ③この辺りの店はどこも早く閉店する。店によっては7時に閉まってしまう。

☞ 1「~によって」の用法の一部。様々な種類の中の一つだけを取り出して述べる言い方。

🔗 1「~によって」と同じ。

3 ~次第で・~次第だ【~で】

●「~に対応して、あることが決まる」と言いたい時。

- ①言葉の使い方次第で相手を怒らせることもあるし、喜ばせることもある。
- ②わたしはその日の天気次第で、一日の行動の予定を立てます。
- ③国の援助を受けられるか受けられないかは、この仕事の結果次第です。

☞ 10「~いかにで・~いかにによって・~いかにだ」の☞を参照。
🔗 名詞 + 次第で

4 ~次第では【ある~の場合は】

●「ある~の場合は~のこともある」と言いたい時。

- ①成績次第では、あなたは別のコースに入ることになります。
- ②道の込み方次第では、着くのが大幅に遅れるかもしれません。
- ③考え方次第では、苦しい経験も貴重な思い出になる。

☞ 1 3「~次第で」の用法の一部。いろいろな可能性の中の一つを取り上げて述べる言い方。

☞ 2 11「~いかにでは・~いかにによっては」と意味、用法が同じ。

🔗 3「~次第で」と同じ。

5 ~に応じて・~に応じた

●前のことがらが変われば、それに対応して後のことがらも変わることを表す。

- ①人は年齢に応じて社会性を身につけていくものだ。

I 原因・理由 その1 そうなったわけやそう思うわけを言いたい時

2級

- 1 ~によって・~による
- 2 ~から・~ことから・
~ところから
- 3 ~からこそ
- 4 ~につき

1級

- 5 ~こととて
- 6 ~とあって
- 7 ~ゆえ (に)・~ゆえの



I・1 ~によって・~による【~が原因で】

- ① この店は一昨年から不景気によってついに店を閉めることとなった。
- ② 女性の社会進出が進んだことにより、女性の社会的地位もだんだん向上してきた。
- ③ 地震による被害者は6千人以上になるようだ。

名詞 + によって

→13課1「~によって・~による」



I・2 ~から・~ことから・~ところから【~が原因で/~が理由で】

- ① たばこの火の不始末から火事になった。
- ② 友人の無責任なひとことから、彼女は会社にはいれなくなって会社をやめた。
- ③ この辺は桜の木が多いことから、桜木町と呼ばれるようになった。
- ④ 彼女はアラビア語ができるということから、オリンピックの通訳に推薦された。
- ⑤ 灰皿に煙の立っている吸い殻が残っていたところから、犯人はまだ遠くへは行っていないと思われる。

「~ところから」は外にも理由があると思われる、という気持ちが加わる。

名詞 + から 連体修飾型 (「名詞+の」の形はない) + ことから



1b 2a 3c 4c 5d



1a 2b 3a 4a 5a



I・3 ~からこそ A【~から】

- 「~」がただ一つの理由であり、大切であることを強調したい時に使う。

- ① 「あなただからこそ、話すのです。外の人には言いませんよ。」
- ② 彼は数学や英語の成績がよかったからこそ、合格できたのでしょう。
- ③ 先生に手術をしていただいたからこそ、再び歩けるようになったのです。

1 「~からこそ、~のだ。」という形の使い方が多い。

2 ×努力しなかったからこそ、合格できなかったのですよ。

マイナスの意味を強める時にはあまり使われない。

~からこそ B【~から、かえて】

- 常識に反する理由だが、その理由を特に言いたい時の言い方。

- ① かわいと思っているからこそ、厳しくしつけるのです。
- ② 知らない人ばかりだったからこそ、言いにくいことも言うことができたのだ。
- ③ 雨だからこそ、うちにいたくない。雨の日うちにいるのは寂しすぎる。



I・4 ~につき【~のため】

- ① 店内改装中につき、しばらく休業いたします。
- ② 本日は祭日につき、休業。
- ③ この手紙は料金不足につき、返送されました。(郵便局からの通知)

お知らせ、掲示、張り紙など、通知の文の決まった言い方。

名詞 + につき



I・5 ~こととて【~ことだから】

- ① 「世間知らずの若者のしたこととて、どうぞ許してやってください。」
- ② 「山の中の村のこととて上等な料理などございませんが……。」
- ③ 子どものこととて、何を聞いても泣いてばかりいる。

連体修飾型 + こととて